

脛アミラーゼ		367000
		担当部署
P-アミラーゼ		生化
<b>検査オーダー</b>		
患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00
<b>検体採取・搬送・保存</b>		
患者の事前準備事項		特記事項なし
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし
検体の種類	採取管名	内容物
1	全血 10 青	分離剤
2	他材料 10 青	分離剤
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
検体搬送条件		室温
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)
<b>検査結果・報告</b>		

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		16-52U/L シカフィット p-AMY-G7 試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	U/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>血中アミラーゼの測定は膵逸脱酵素の増減から膵疾患の存在を推定する方法の一つである。特に膵腺房細胞に負荷のかかる状況で血中アミラーゼは鋭敏に反応するので、膵疾患のスクリーニングに有用である。急性膵炎の診療ガイドラインでは急性膵炎の診断に対する血中アミラーゼの測定は推奨度 A にランクされているが、幾つかの限界が指摘され、特に特異度が低い点が問題となっている。血中アミラーゼ測定は、腹痛を訴える救急患者に対して緊急検査として、また急性膵炎の経過観察において膵炎の病勢のモニタリングに用いられている。</p> <p>主な産生臓器は膵臓と唾液腺であり、これら2つの臓器のいずれに由来するかはアミラーゼアイソザイムや膵(P)型アミラーゼの測定により判定される。高アミラーゼ血症の際には膵臓由来か否かが臨床的に重要である。</p> <p>日本臨床第7版 416,2009</p>				